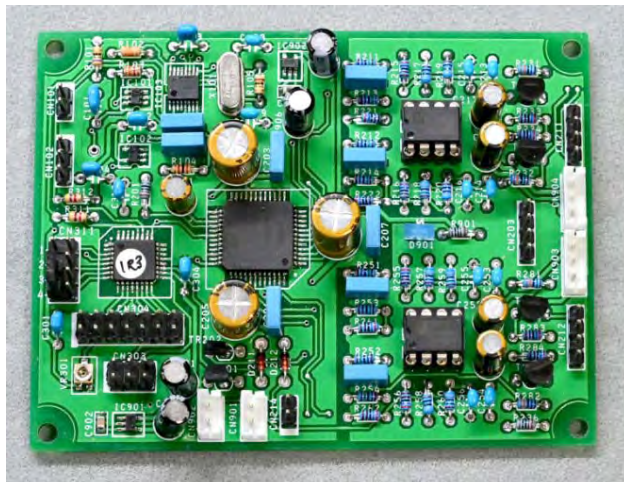


フルーエンシ DAC

DAI付き FN1241 DAC基板



この度は、フルーエンシ理論DAC FN1241基板 (DAI付き)を
お買い上げ頂き ありがとうございます。
組み立て前に本説明書を ご一読いただきますよう お願いいたします。



※ ケーブルやソケット,LED等の色が写真と異なる場合があります。改良によって、レイアウトなどが変更になる場合があります。

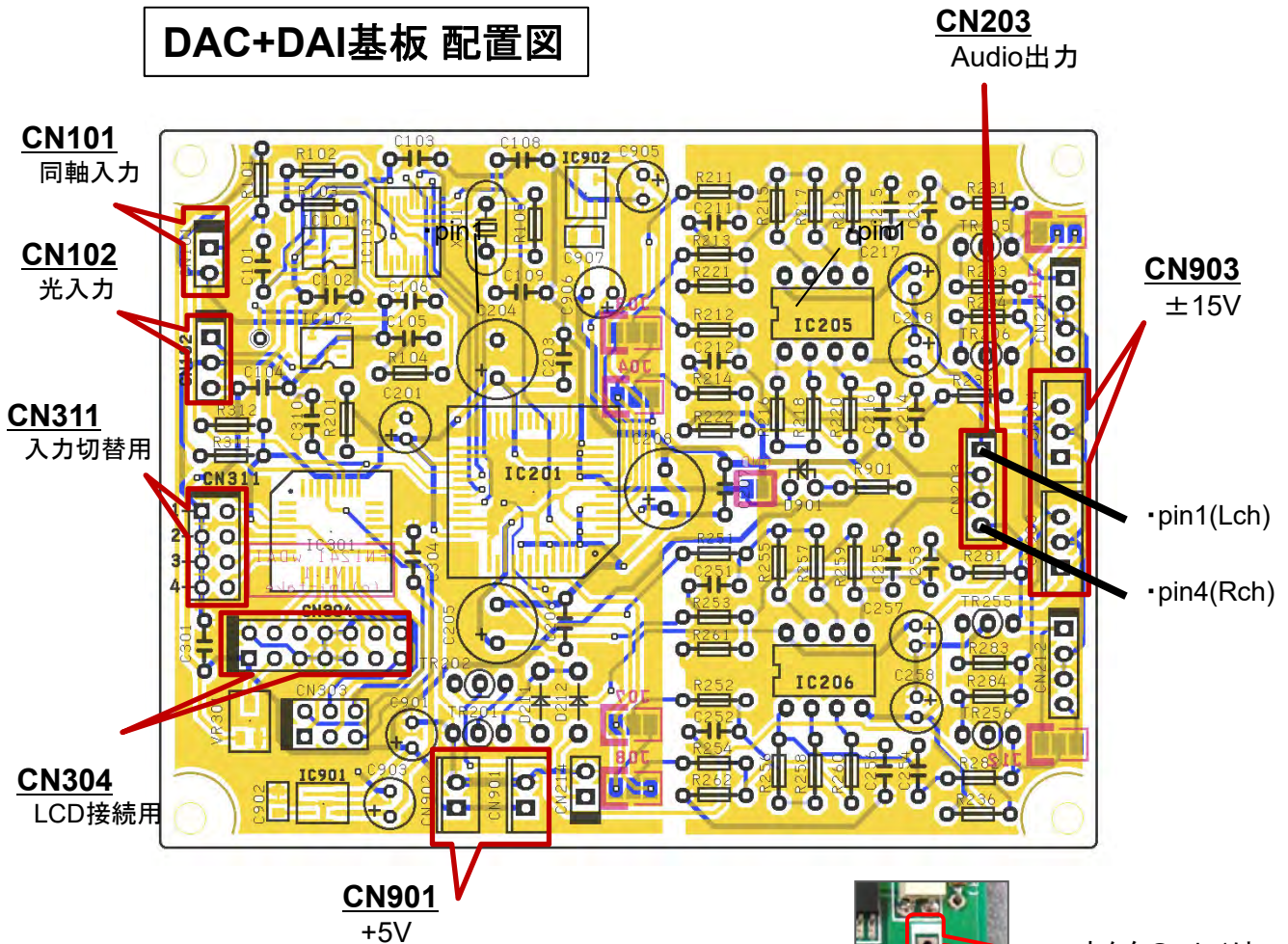
< DAC + DAI付き基板 の特徴 >

- ・ 新潟精密製 FN1241/24bit DACを搭載しました。
- ・ DAIは、LC89091を搭載し SPDIF (同軸及び光端子)入力時のクロック表示が可能です。
- ・ サンプル周波数 44K/48K/88K/96K での動作確認済みです。
- ・ LPFには、AD社 OP275 を使用。
- ・ オーディオ出力部には、muting回路を搭載。

< 主な仕様 >

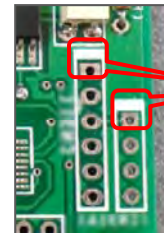
- ・ SPDIF : 2ピンは同軸、3ピンは光端子(別売)に対応し クロック表示(LCD別売)可能
- ・ ポストアンプ(LPFP)に AD社 OP275 を使用
- ・ オーディオ出力 : 2.0 Vrms
- ・ 基板サイズ : 72 x 94 mm 1構成 (system72 準拠)
- ・ 電源 : $\pm 12 \sim \pm 15V$ 、+5V

DAC+DAI基板 配置図



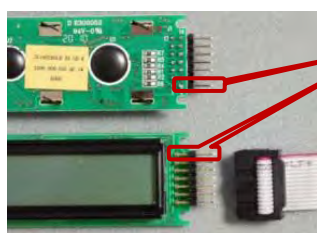
DAIの設定と基板の接続

- CN901に +5V電源を接続します。
- CN903に ±15V電源を接続します。 (±12~15Vが使用可能です)
- CN101はSPDIF同軸、CN102は光端子の入力端子となります。
- CN311 (8pin)は、SPDIFの入力切替用です。 無しで同軸、有りで光入力端子となります。 (CN311-2~4は予約です)
- CN304には SC1602BS 相当のLCDが接続できます。 無くても動作には影響ありません。 (本書の最終ページに、LCD表示例を載せてあります)
- CN203は、オーディオ出力端子です。 1pin側が L ch 4pin側が R chです。
- CN214は外部からのMuting入力端子です。 Mutingしたい時、5Vを加えます。



コネクタの pin1は、シルク印刷の太くなっている側です。

LCDモジュールの接続コネクタ部 1番ピン側

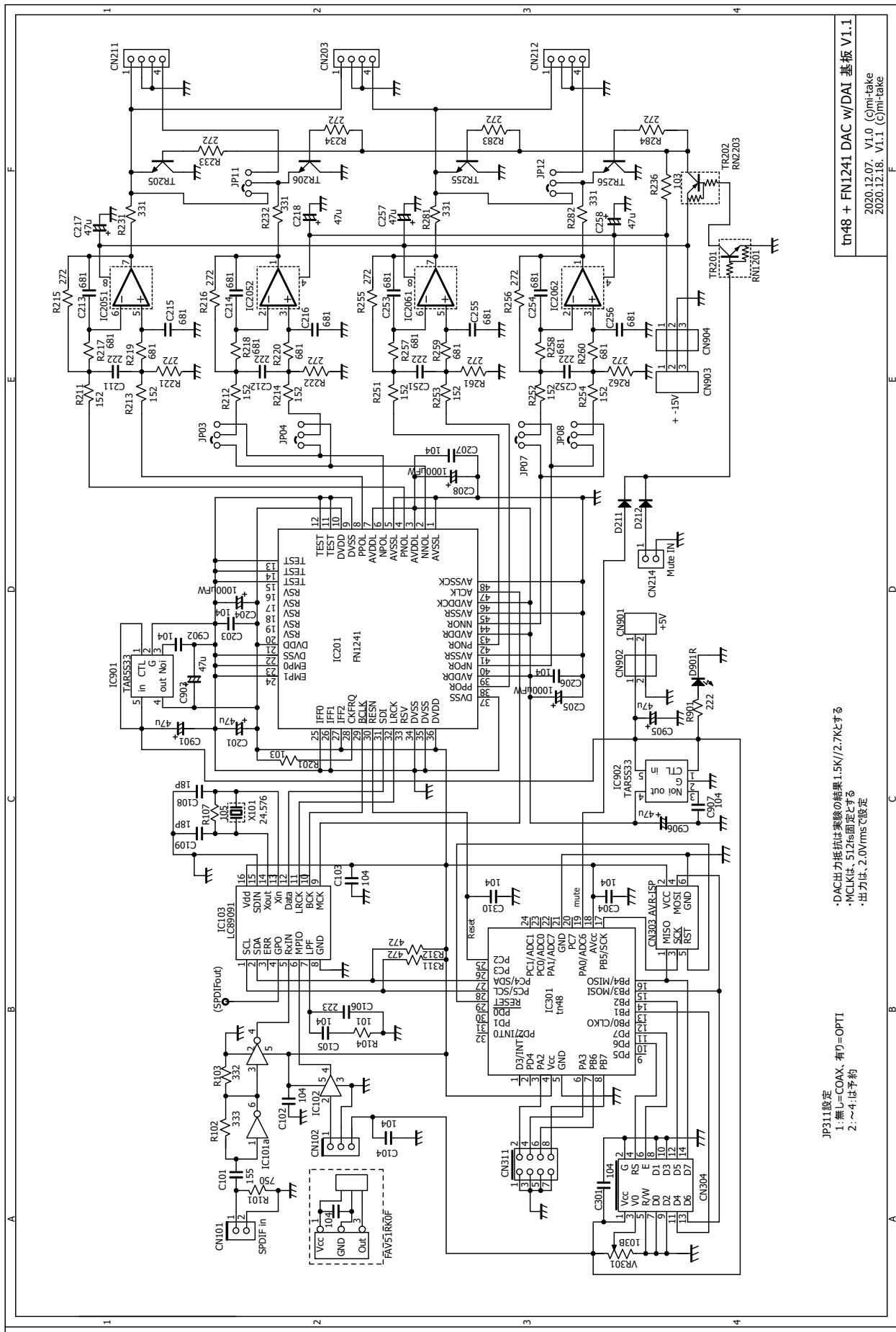


1番ピン側

「茶/赤」線側が1番ピン



FN1241DAC 参考回路図



tr48 + FN1241 DAC w/DAI 基板 V1.1
 2020.12.07. V1.0 ©mi-take
 2020.12.18. V1.1 ©mi-take

JP311設定
 1.無し=COAX、有り=OPTI
 2.~4.は予約

・DAC出力抵抗は実線の結果1.5K/12.7Kとする
 ・MCLKは、512fs固定とする
 ・出力は、2.0Vrmsで設定

DAC基板に LCD接続した場合の表示例

・表示内容は仕様変更等により異なる場合があります

・電源投入時



・SPDIF 同軸 96KHz時



・SPDIF 光入力時



使用上のご注意・制約事項など

- ・電源off時にノイズが出る場合があります。 Muting基板などとの併用をお勧めします。

履歴

Rev. 1.0 : 2021. 01. 30. 1st release

[免責事項]

本キット及び 説明書は、万全を期して作成されておりますが、
万が一、本キットを製作・運用した上で何らかの障害が発生しても
当方では その責を一切負いませんので ご了承下さい。
利用者の自己責任においてご利用をお願いいたします。

- ・使用するケーブルやソケット等の色が写真と異なる場合があります。
- ・性能改善のため予告無く仕様が変更になる場合があります。
最新情報・関連技術情報を 下記 Mi-Take のホームページで
提供しています。

<http://www.mi-take.biz>